

1: 日本語生成パネル会合(11)議事録
2:
3:
4: 日時: 2015年6月16日(火) 9:33-11:05
5: 場所: JPRS会議室
6: 出席者(順不同):
7: 久保次三 専修大学
8: 小西和憲 APAN-JP事務局長
9: 後藤滋樹 早稲田大学
10: 堀田博文 JPRS
11: 村上嘉隆 株式会社ブライツコンサルティング
12: 米谷嘉朗 JPRS
13: 是枝祐 JPNIC(事務局)
14: 高松百合 JPRS(事務局)
15: 欠席者(順不同):
16: 田代秀一 情報処理推進機構
17: 前村昌紀 JPNIC
18:
19: アジェンダ:
20: (1) 前回議事録確認
21: (2) 対外状況の共有
22: (3) JPでの利用状況調査共有・LGRでの対応検討
23: (4) ICANN会合パブリックセッションでの発表資料共有
24: (5) 今後の予定
25: (6) その他
26:
27: 資料:
28: 1 日本語生成パネル会合(11)アジェンダ
29: 2 日本語生成パネル会合(10)議事録(案)
30: 3 JGP update(ICANN会合発表資料)
31: 4 JGPとしての検討課題への対応
32: 5 今後の予定
33:
34: 決定事項:
35: A 前回議事録を承認した。
36: B 資料4の検討課題への対応方針で提案された内容で引き続き調整を行う
37: ことを合意した
38: C 資料3の内容でICANN会合での発表を行う
39: D 次回JGP会合の開催要否は、ICANN会合とAPrIGF時の検討・調整状況に応じ
40: て堀田・米谷で検討し判断する。
41:
42:
43: 議事経緯:
44:
45: (1) 前回議事録確認[資料2]
46:
47: 前回議事録は承認された。
48:
49:
50: (2) 対外状況の共有
51:
52: 堀田博文・米谷嘉朗よりCJKとの調整状況について、現在は各GPで調査分析を
53: 進めている段階でありCJKとしての進展は無いとの報告がなされた。
54:
55: 商標協会のメンバーを対象としたイベントの調整は引き続き村上嘉隆を中心に
56: 行う。また、イベント時に共有する内容はCJKでの最終的な調整結果との開きが
57: できる限り少なくなるよう、CJKでの調整、対応検討及びJGPメンバーへの共有は
58: 引き続き行う。
59:
60:

61: (3) JPでの利用状況調査共有・LGRでの対応検討[資料4]
62:
63: 米谷嘉朗より、前回JGP会合で共有した今後の検討課題に関し、現状で判明して
64: いる条件での調査・研究結果およびそれを考慮したJGPとしての方針案の説明が
65: 行われ、その方針で今後の調整を進めることに合意がなされた。
66:
67: ただし、今後出てくる韓国提案次第で前提条件が変わる可能性があるため、大き
68: な変更が必要となる場合には改めてJGP会合で影響の共有・対応の相談を行うこと
69: とした。
70:
71:
72: (4) ICANN会合パブリックセッションでの発表資料共有[資料3]
73:
74: ICANNブエノスアイレス会合で発表予定の資料について確認を行い、確認した
75: 資料で確定とした。
76:
77:
78: (5) 今後の予定[資料5]
79:
80: 次回JGP会合の開催時期はICANN会合とAPrIGF終了後、そのときの会合の結果報告
81: とあわせて、堀田・米谷が対面での開催要否を提案する。
82:
83:
84: (6) その他
85:
86: 商標協会でのイベントを実施する際には、単にRoot LGRの話だけをするのでは
87: なく、新gTLDの今後の予定といったビジネスに関連した情報も交えた内容と合わ
88: せた2本立ての構成とすべく調整する。
89:
90: 以上